# 第4回 パチンコ パチスロ エッセー・絵手紙コンクール

# 鈴木秋乃さんがエッセー最優秀 絵手紙は松井美晴さんが獲得

日遊協主催の第4回パチンコ・パチスロ エッセー・絵手紙コンクールの最終審査委員会が5月13日、日遊協本部会議室で開かれた。日遊協から庄司孝輝会長ら4人、協賛団体から全日遊連・青松英和理事長ら4人が出席し、第2次審査（4月23日）で勝ち残ったエッセー、絵手紙各13編の入賞作品を対象に審査した。

## 栄冠は女性2人に

各委員が持ち寄った点数をたたき台に審査した結果、最優秀賞にはエッセー部門が宮城県仙台市、会社員鈴木秋乃さん（26）、絵手紙部門が神奈川県横浜市、フリーター松井美晴さん（25）と、女性2人の作品にそれぞれ決まった。さらに両部門の優秀賞各2編、佳作各10編も決定した。審査の結果は6月5日の日遊協ホームページで公表された。また、最優秀賞受賞者2人は同日の日遊協第25回通常総会（定時社員総会）に招かれた。

## 明日が見えない時 ホールへ向かった

エッセー最優秀賞、鈴木秋乃さんの作品は、東日本大震災1週間後、被災の爪痕が生々しい仙台でパチンコをして味わったうれしさと興奮の思い出を綴った。被災した職場の復旧作業で疲労困憊している中、つかの間の休日が取れて入ったパチンコ店。店内はほぼ満席の状態。ふいに余震が襲うと、お客さんはみんなハンドルから手を離し、ぐらつく台を心配そうに見守る。揺れがおさまると、「大丈夫かな」「強くなかったね」という感想が見知らぬお客さん同士で行き交い連帯感のようなものが生まれた。異常な状況下での遊技だったが、「あの日以上に楽しいパチンコを、未だ知らない」と、3年経った今、鈴木さんはエッセーで振り返る。

## 受賞者

### エッセー

◆最優秀賞（1編：旅行券30万円分）

鈴木　秋乃（26）（会社員）宮城県仙台市

「あの日から一週間後」

◆優秀賞（2編：旅行券10万円分）

【日本遊技機工業組合優秀賞】

米山　敦（55）（会社員）東京都豊島区

【日本電動式遊技機工業協同組合優秀賞】

岩間　朗子（52）（会社員）東京都文京区

絵手紙最優秀賞
松井美晴さん

エッセー最優秀賞
鈴木秋乃さん

◆佳作（10編：商品券1万円分）

松本　幹彦（34）（会社員）群馬県伊勢崎市
渡会　克男（64）（公務員）千葉県柏市
大西　　賢（41）（会社員）東京都日野市
櫻庭　詩乃（30）（自営業）東京都豊島区
月山ここね（41）（主婦）愛知県田原市
奥　さやか（25）（フリーター）京都市
高津戸直輝（34）（㈱正栄プロジェクト）
金銅　真希（23）（京楽産業.㈱）
安藤　邦洋（31）（㈱プローバ）
満本　絢子（22）（ひぐちグループ）

## 絵手紙

◆最優秀賞（1編：旅行券15万円分）

松井　美晴（25）（フリーター）神奈川県横浜市

◆優秀賞（2編：旅行券5万円分）

【全国遊技機商業協同組合連合会優秀賞】
浦田　芳子（36）（無職）愛知県豊田市
【回胴式遊技機商業協同組合優秀賞】
沖　　優子（23）（㈱プローバ）

◆佳作（10編：商品券1万円分）

れ　っ　ち（28）（フリーター）東京都調布市
高木　政史（65）（無職）東京都中央区
居村　倫也（72）（無職）京都市
堀江　寛子（37）（主婦）岐阜市
谷口　正則（38）（会社員）千葉県流山市
岩本しんじ（59）（自営業）福岡県大牟田市
杉浦小百合（64）（主婦）京都市
上田　友博（33）（㈱日光商事）
早熊やすの（57）（ひぐちグループ）
櫛山祐己乃（27）（ひぐちグループ）

最優秀賞などを審議した最終審査委員会

# 一喜一憂している雰囲気が好きです

絵手紙最優秀賞の松井美晴さんの作品は、母娘が食卓でおかずを囲んでウキウキしているユーモラスなイラストに、「パチンコで当たった日　我が家に一品おかずが増える日　それはとってもステキな日」と、リズム感のある文章が添えてある。「これはお母さんがパチンコで当てて、何かおかずを取ってきたという設定です」（松井さん）。

松井さんはイラスト関係の仕事が多い。コンクールは公募雑誌で知ったが、すぐ締め切りだったので2日もかけずにあわてて描いた。「だから最優秀賞なんてびっくり」だという。

「パチンコ経験はありますが、あまりやらないんです。（アニメの）エヴァンゲリオンが好きで、バイト先の後輩が『パチンコにもエヴァンゲリオンありますよ』というから、連れて行ってもらい、打ってみたんですね。あっという間にお金なくなりました……。でも、まわりのお客さんを観察していたら、みなさん台と真剣に向き

鈴木さんがコンクールに応募したのはこれが初めて。たまたま読んだファン雑誌で募集を知った。すぐに「あの思い出を書こう」と思い立った。「明日も見えない暗い状況でした。仙台駅近くのパチンコ店が開いているという噂を聞いて、兄と2人で当時住んでいた塩釜市から車で1時間かけて行きました。あのお店、よく開いていたなと思います」。鈴木さんの遊技歴は5年ほど。パチンコもパチスロも打つ。あの日、鈴木さんは大当たりしてお菓子をたくさん持ち帰り、家族や職場で喜ばれたが、「ふだんはあまり勝てません。だらだら打つ楽しみを優先していますから……」と笑った。

合って一喜一憂して、楽しそう。あの雰囲気は好きだったです。絵手紙にもそんな雰囲気が無意識に盛り込まれたのかも」という。

今回のテーマはエッセー、絵手紙共通で「パチンコ・パチスロ 私の楽しみ方」「パチンコ・パチスロへのメッセージ」の2つ。応募総数は686編で、前回より103編少なかった。内訳は、エッセー436編（一般253、業界183）、絵手紙250編（一般96、業界154）で、前回よりエッセーは21編、絵手紙は82編のそれぞれマイナスだった。

コンクールは前身の「パチンコ・パチスロ論文・作文コンクール」（9回開催）を含めて通算13回開催され、パチンコ・パチスロの魅力を内外に伝えてきたが、今回でいったん休止となる。

最終審査委員会のその他の出席者は次の通り。（敬称略）

〔協賛団体〕日電協常務理事・橘高照忠▽回胴遊商専務理事・桂木俊郎▽自工会事務局長・山田崇晴（以上、代理）〔日遊協〕広報調査委員会委員長・福山裕治▽専務理事・篠原弘志▽常務理事・伊東慎吾

## 最終審査委員会委員（敬称略）

◇審査委員長
庄司孝輝（日遊協会長）

◇協賛団体委員
青松英和（全日遊連理事長）
金沢全求（日工組理事長）
里見　治（日電協理事長）
中村昌勇（全商協会長）
伊豆正則（回胴遊商理事長）
古宮重雄（自工会理事長）

◇日遊協委員
韓　裕（広報調査委員会担当副会長）
福山裕治（広報調査委員会委員長）

◇事務局
篠原弘志（専務理事）
伊東慎吾（常務理事）

**絵手紙最優秀賞**
松井 美晴

優秀賞
浦田 芳子

優秀賞
沖 優子

エッセー最優秀賞

# あの日から一週間後

鈴木 秋乃

明日は休んでいいぞ。上司の口からやっとその言葉が出た。何をしよう。休みが重なった兄と相談する。「何がしたい？」「パチンコがしたい」。私は迷うことなくそう告げた。

東日本大震災から一週間、わずかなガソリンを頼りに家から一時間もかけて、街の中心部のパチンコ店に兄と二人で出かけたときのことだ。二人とも疲労は激しい。震災からずっと、荒れ果てた職場を立て直すことに必死だった。電気も水もガスも絶たれ、食事も睡眠も成り立たない。それでも働き続けた末、一週間ぶりに得た休みだった。

その時の世の中は、「非常事態」に満ちていた。封鎖された道路。スーパーに並ぶ行列。静まりかえった街。ラジオから流れてくる絶望だけが情報の全てを占めていた。それでも、いや、それだから私は、どうしてもパチンコが打ちたかった。

たどり着いた店内はいつになく満席だった。店の中は薄暗く、店員さんの数も少なかった。注意書きが目につく。トイレに水は流れません。いつも通りのパチンコ屋のサービスは、最低レベルにまで落ち込んでいた。みんな切らしたせいだろうか、煙草の臭いはなく、ジュースの自販機は全て空だった。それでも誰も文句は言わない。使いどころのなくなったお札を、慣れた手つきでサンドに入れている。

私はそんなホールの中を、高揚しながら歩いていた。何を打とうか、頭はそれでいっぱいだった。いつも漠然と眺めていただけの台が、これ以上なく楽しそうに映る。結局、次にいつお金が下ろせるとも知れないから、1円パチンコに座ることにした。打ち慣れた、大好きな台を選ぶ。ハンドルを回す。銀色の玉が飛び出して、釘と釘の間を流れる。ヘソに入って流れ出すBGM。リーチもかからずハズレ。そんな光景が、たまらなく嬉しかった。

余震はふいに訪れる。みんながハンドルから手を離し、ぐらつく台を見守る。揺れがおさまった。「大丈夫かな」「強くはなかったね」。そんな言葉が、見知らぬ他人同士の間を行き交う。

ふいにチャンスは訪れた。これならば当たるだろう、と期待出来る演出。予想が当たって、大当たり。たまたまの確変の大当たりが、自分を激励してくれたのだと錯覚するほど嬉しかった。当たりは続く。一度一度の大当たりが、惜しくなるほど嬉しい。

帰りの時間はやってきた。また打てるときを夢見て、惜しみながら席を立つ。結果は少しのプラス。それでも充分だった。景品でたくさんのお菓子を貰う。食料の確保すらままならなかったあの時、コンビニでも売っているようなお菓子は、最高の贅沢品だった。家族に配って、後日職場の人へも渡す。

「ありがとう」の言葉が、いつになく驚きに満ちて、そして嬉しそうだった。

あの震災からもう三年が経つ。近郊で、いの一番に営業を再開したあのホールも、今は当たり前のパチンコ店の中に紛れてしまった。けれど、私はあの日以上に楽しいパチンコを、未だ知らない。

ギャンブルだ、遊技だ、いろんな議論がある。たくさんの勝ち負けを経験してきた私も、日々さまざまなことを思う。あの日を振り返り、私がパチンコについて思うこと。たった一つの結論は、「パチンコはとっても楽しいものだ」。シンプルで単純だけど、それが揺らぐことのない答えなのだと思う。